

FilmLight テクニカルセッション2026

6月23日(火)

① 10時～13時

② 15時～18時

「スタジオ・グレーディングの未来像」

ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー Water Tower ColorのDIカラーリスト、ジョン・ダロ氏に学ぶ

会場 株式会社レスター ・ 3階セミナールーム
〒108-0075 東京都港区港南2-10-9 レスタービルディング

お申込み 下記リンク先または右のQRコードを読み取り、
必要事項をご記入してお送りください
申し込みフォームは[こちら](#)



John Daro
Lead Digital Intermediate Colorist
Warner Bros. Discovery
Water Tower Color
<https://www.johndaro.com/>

ジョン・ダロ氏は、ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーのWater Tower Colorにおけるリード・デジタル・インターミディエイト・カラーリストであり、クラシカルな映像美と最先端のカラーサイエンスを融合させる分野において重要な存在となっている。業界で20年以上の経験を持ち、これまでに100本以上の長編作品のフィニッシングを監修。大規模スタジオ作品から革新的なアニメーション、さらには イマーシブ・シアター向けプロジェクトに至るまで幅広く手がけてきた。

近年では、ラスベガスのSphere向けに『オズの魔法使い』のカラーグレーディングという画期的なプロジェクトを主導した。この取り組みは、1939年の名作を約16K解像度・16万平方フィート規模の全天周LEDスクリーンへと忠実に再現するものであり、イマーシブ・エンターテインメントにおける新たなパラダイムを提示するものとなった。

またダロ氏は、ポストプロダクションにおける機械学習の応用分野においても先駆的な存在として知られる。リファレンス画像をもとに機械視覚を用いて芸術的なグレーディングを行う「MatchGrader」や、高度なアップコンバージョン処理を実現する「SamurAI」といったツールを自ら開発している。

そのフィルモグラフィには、アカデミー賞ノミネート作品であるNetflix『ジェイコブと海の怪物』をはじめ、スティーヴン・ソダーバーグ監督の『コンテイジョン』『KIMI/サイバー・トラップ』、さらに『ボックスストロール』や『イン・ユア・ドリームズ: 願いがかなうなら』といったアニメーション作品が含まれる。

カラーリスト団体「Colorists Society Hollywood」の創設メンバーおよび役員を務めるほか、「Visual Effects Society」のメンバーでもあり、その功績によりHPAアワードやFilmLight Colour Awardsへのノミネート歴を有する。現在も優れたコラボレーターであり教育者であり続けると同時に、デジタル・ダークルームにおける表現の可能性を押し広げる革新者として活躍している。

